

広報

きたはりま119

<http://www.kitaharima119.net>

災害のない明るいまちづくり



ニューフェイス
&ニューラインナップ

vol. 2

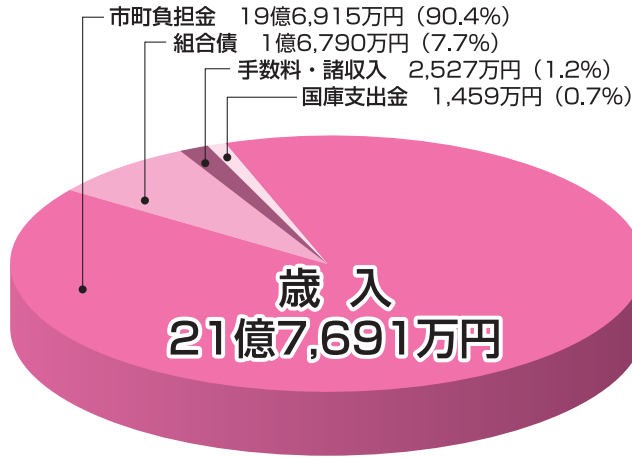
2013 SPRING
北はりま消防組合

平成23年度 決算報告

平成24年度10月の組合議会で認定されました

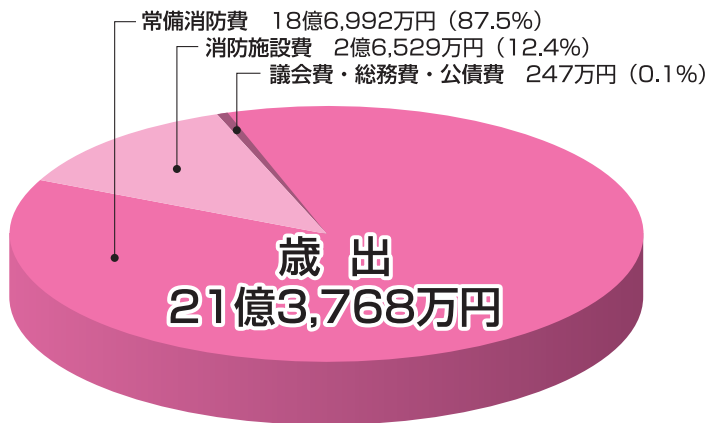
平成23年度の決算額は、歳入総額21億7691万円、歳出総額21億3768万円、差し引き残額3923万円となり、その全額を翌年度に繰り越しました。

主な事業は、組合発足に伴う防火衣等貸与被服の統一、国の補助金を活用した消防車両の整備、消防救急デジタル無線整備に係る基本設計など消防施設整備の充実強化を図りました。



市町負担金	組合を構成する市町からの負担金
組合債	消防施設整備のための借入金
手数料・諸収入	消防検査等の手数料・その他の収入
国庫支出金	組合の事業に対する補助金

市町負担金内訳	
西脇市	4億4,468万円
加西市	6億2,923万円
加東市	5億8,481万円
多可町	3億1,043万円



常備消防費	消防業務に係る費用(人件費含む)
消防施設費	消防車両・消防施設の整備費用
議会費	組合議会の運営活動費用
総務費	組合全体の事務管理費用
公債費	一時借入金利息

議会費・総務費・公債費内訳	
議会費	21万円
総務費	225万円
公債費	1万円

主な事業



消防救急デジタル無線整備事業 525万円



車両整備事業 1億9,912万円



貸与被服整備事業 2,981万円

お知らせ

入札参加者資格審査の登録申請について

平成25年度から北はりま消防組合と契約行為を行う場合は、登録申請が必要となります。

申請要領等については、ホームページに掲載しますのでご確認ください。(受付開始 2月中旬予定)

【担当課】消防部企画財政課

平成24年中火災・救急・救助の概要

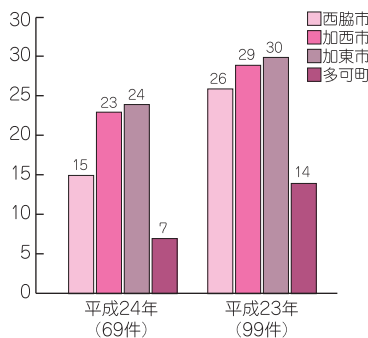


火災発生状況

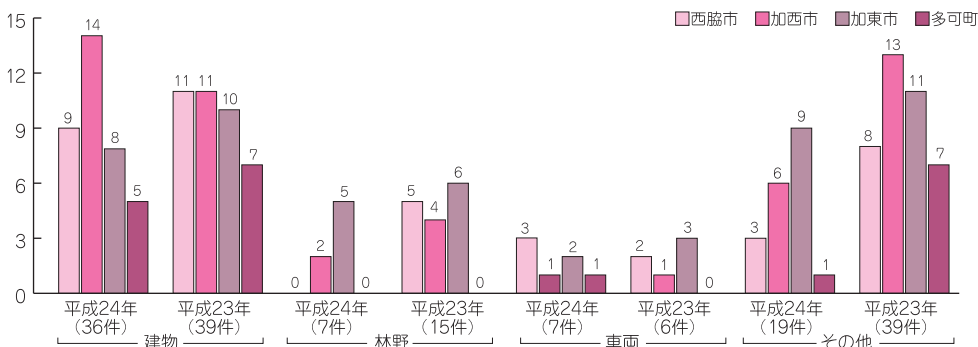
- 火災発生件数69件（30件減少しました。）
（西脇市15件、加西市23件、加東市24件、多可町7件）
- 死者3名・負傷者15名 ●損害額 1億4,859万5千円

火災発生件数は、西脇市で11件、加西市で6件、加東市で6件、多可町で7件減少しました。
火災種別では、建物火災36件、林野火災7件、車両火災7件、その他の火災が19件発生し、林野火災（前年比較-8件）とその他の火災（前年比較-20件）で大幅に減少しました。

■市町別火災発生状況



■火災種別発生状況



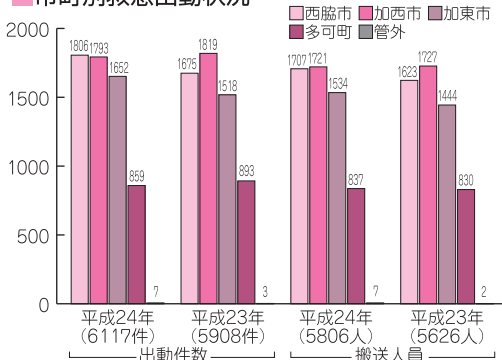
救急発生状況

- 救急出動件数6,117件（209件増加しました。）
（西脇市1,806件・加西市1,793件・加東市1,652件・多可町859件・管外7件）
- 救急搬送人員5,806人

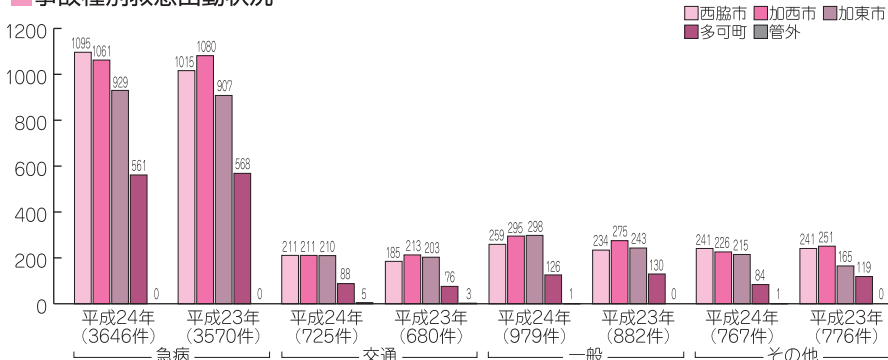
救急出動件数は、西脇市で106件、加東市で134件増加し、加西市及び多可町でそれぞれ26件と9件減少しています。

事故種別で、圧倒的に多いのは急病（3,646件）で、続いて一般負傷（979件）、交通事故（725件）の順となっています。

■市町別救急出動状況



■事故種別救急出動状況

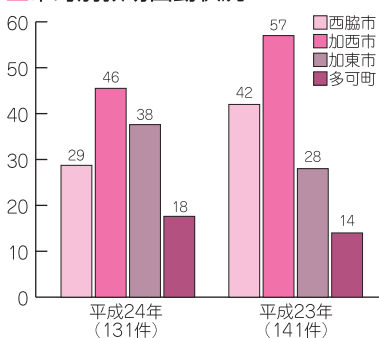


救助発生状況

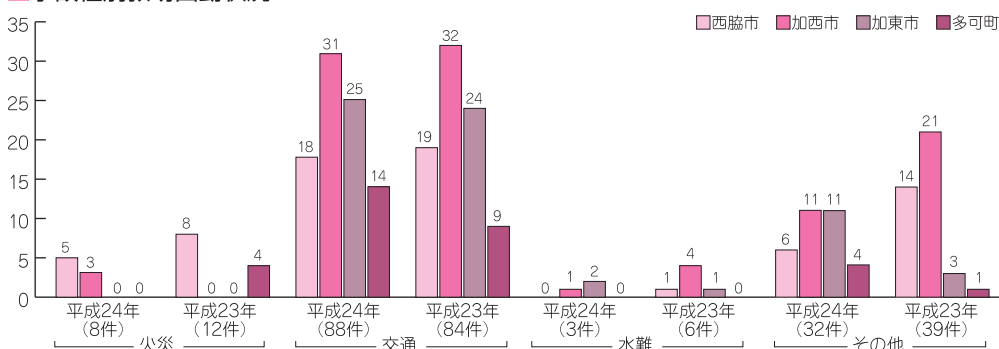
- 救助出動件数131件（10件減少しました。）
（西脇市29件・加西市46件・加東市38件・多可町18件）

救助出動は、交通事故のみ4件増加し、火災が4件、水難が3件、その他が7件減少しています。

■市町別救助出動状況



■事故種別救助出動状況





消防法で定められた防火管理を推進するために必要な資格を取得するための講習会を開催しました。(7/19・20)

防火管理講習会を開催
(予防課)



鉄道軌道上での災害に備え、加西消防署・加西警察署・北条鉄道事業者の連携強化を目的に事故対策訓練を実施しました。(5/15)

北条鉄道事故対策訓練を実施
(加西)



加西市少年婦人防火委員会は、加西消防署で市内11小学校の少年消防クラブ員を対象に防災体験教室を開催しました。(8/9)

BFC防災体験教室を開催
(加西)



参加した署員は、水難事故による要救助者を安全かつ迅速に救出できるよう、救助技術向上を目指し真剣に取り組みました。

水難救助訓練を各署で実施



少年消防クラブ員20名が、人と防災未来センターを訪れ、阪神淡路大震災の映像や遺品を見学しました。(7/31)

**少年消防クラブ夏休み
防災体験教室(西脇・多可)**



各署で中学生を受け入れ、職員と一緒に救助訓練や水防活動等のさまざまな体験をし、規律と連携を身につけ、仲間と協力することの大切さを学びました。



トライやるウィーク!
(西脇・加西・加東・多可)



管内の小学生が西脇消防署を見学し、消防署の仕事について勉強しました。(8/17)

夏休み消防教室を実施
(西脇)



やしろこどものいえ(加東市)で、市内の0歳児から3歳児の母親を対象に、小児救急に対する応急手当講習会を開催しました。(9/12)

小児救急講習会を開催
(救急課)



優良救急隊員表彰式が行われ、救急業務に関し功労のあった職員8名が、消防長・署長から表彰を授与されました。(9/5)

優良救急隊員を表彰
(救急課)



医療法人社団正峰会大山病院の照喜納医師を招いて救急隊員のレベルアップ研修会を開催しました。(9/5)

救急隊員教育研修会を開催
(救急課)



消防署と消防団との連携を深め、有事の際に円滑で効果的な防御体制の確立を目的に各署と地元消防団との合同訓練が行われました。



消防団との合同訓練を実施



校庭のはしご消防車を、児童は真っ白い画用紙いっぱいのにのびのびと描いていました。(10/10)

管内の小学校で写生会を実施
(多可)



林野火災を未然に防止することを目的に、鎌倉山ハイキングコース(加西市)に林野火災防止用標識を設置しました。(10/28)

林野火災防止用標識を設置
(加西)



はしご車の説明、放水訓練、防火衣を着ての写真撮影など、子供たちは、迫力ある姿に目を輝かせていました。(10/20)

はたらく車大集合!
東条湖おもちゃ王国(加東)



防災担当者や地域住民約1,000人が参加し、消防機関と住民のふれあいの場となりました。(10/13)

防火のつどいを開催
(西脇)



秋の火災予防運動に伴う行事の一環として、防火協会加入事業所等による自衛消防競技大会を各消防署で開催しました。

自衛消防競技大会を
各署で実施



小学校と合同で避難訓練と火災を想定した消火・救出訓練を実施し、防火意識の高揚を図りました。(11/12)

管内の小学校で
合同消防訓練を実施(多可)



タワージャズジャパン(株)(西脇市)の危険物及び消火設備について警防調査を行いました。(11/21)

タワージャズジャパンで
警防調査を実施



住宅用火災警報器の設置促進キャンペーンを、秋の火災予防運動期間中に各消防署で実施しました。



住宅用火災警報器設置
キャンペーンを各署で実施



水消火器を体験し、消防車を見学することで、消防を身近に感じてもらう事ができました。(11/27)

管内の保育園で
消防教室を実施(多可)



消火訓練や車両見学などの研修を通じ、親子・孫の世代間の交流を深め、昼食の炊出しのカレーにみんな夢中でした。(11/23)

三世代交流
安全安心教室を開催(加東)



勤労感謝の日に伴い、中町幼稚園の園児たちから感謝のこもった手作りの木製はしご車を頂きました。(11/22)

勤労感謝の日に伴い
園児が訪問(多可)



消火や避難、ロープ結索等の防災訓練に大変熱心に取り組み、防災への意識の高まりが同えました。(11/25)



学校・自主防災組織合同
訓練を実施(加東)



夜間の災害発生時における施設職員の通報・消火・避難誘導等を消防職員が検証し、指導しました。(12/6)

社会福祉施設で
検証訓練を実施(多可)

取り付け
ましたか？

住宅用火災警報器



あなたの住宅にも、火災警報器の取り付けが義務付けられています。
住宅用火災警報器を取り付けていたことで、早期に火災を発見し、大事に至らなかった事例が県内でも数多く報告されています。
ご家族の尊い命を守るために、設置されていないご家庭は、1日でも早く住宅用火災警報器を設置しましょう。

～奏功事例～

ガスコンロに火をつけたまま台所を離れ、しばらくして住宅用火災警報器の警報音に気づき台所に戻ると、ガスコンロ付近が燃えていた。即時119番通報し、その後、消火器で消し止めることに成功した。(西脇市)



寝室に設置した住宅用火災警報器から警報音がしたので見に行くと、寝室のテレビの後ろから炎が上がっていたため、通報した。(加古川市)

空焚き状態となった鍋から煙が発生し、階段部分に設置された警報器の警報音に気付いた近隣住民が119番通報し、現場到着した消防隊がコンロの火を消し止め、火災事案に至らなかった。(西宮市)

居住者が喫煙後、その妻が灰皿の吸い殻をくず入れに捨てたため、紙くずに着火し、2階廊下に設置していた住警器が鳴動した。異常に気づき建物内を確認したところ、火災を発見し、通報した。(豊岡市)



火災予防条例の一部が改正されました

条例で規制される指定数量の5分の1以上指定数量未満の危険物(少量危険物)の貯蔵又は取扱いの基準に関する事項及び使用に際し、火災の発生のおそれのある設備の位置、構造及び管理に関する事項について、条例の内容が一部改正されました。

少量危険物に関する改正事項

これまで非危険物として取り扱われていた炭酸ナトリウム過酸化水素付加物(過炭酸ナトリウム)が、消防法上の危険物に追加されたことから、新たに少量危険物を貯蔵し、又は取り扱う場所となるものについての必要な措置が附則で定められました。

過炭酸ナトリウムは、一般的に「過炭酸ソーダ」、「酸素系漂白剤」とも呼ばれていて、主に洗剤等の成分として使用されています。身近なところでは、スパー、ホームセンター、ドラッグストア等で販売されている「漂白用洗剤」、「除菌用洗剤」、「洗濯槽クリーナー」等に含まれています。

少量危険物の貯蔵又は取扱いの届出	平成24年12月31日まで	少量危険物に該当する場合の必要な措置と措置期限
一定の基準に適合した施設の場合の位置、構造及び設備の改修	平成25年6月30日まで	
基準に適合した容器への詰替及び容器への表示	平成25年12月31日まで	

過炭酸ナトリウムは、第1類の危険物に該当し「第1種酸化性固体」、「第2種酸化性固体」、「第3種酸化性固体」に分類され、それぞれ指定数量が「50キログラム」、「300キログラム」、「キログラム」となっており、性質の違いによって指定数量が異なります。

なお、指定数量以上の貯蔵又は取扱いは、消防法により許可が必要となります。

急速充電設備の位置、構造及び管理に関する事項

近年の電気自動車の普及に伴い、設置が進められている電気自動車の急速充電設備について、設置する際の位置、構造及び管理に関する基準が新たに定められ、平成24年12月1日から施行されました。



条例の改正内容に関する詳細は、消防本部予防課又はお近くの消防署予防係若しくは危険物係にお問い合わせください。



春の火災予防運動

実施期間 平成25年3月1日～3月7日
 全国統一標語 『消すまでは 出ない 行かない 離れない』

3月1日(金) から7日(木) までの7日間にわたり、平成25年春季火災予防運動が実施されます。

週間中は、住宅火災による死者の発生防止対策の要点をまとめた「住宅防火いのちを守る7つのポイント」3つの習慣・4つの対策」について積極的な広報を行い、一人ひとりが防火の重要性を自覚し、日常生活での防火を実践することにより、火災による死傷者や財産の損失を防げるよう取り組みます。

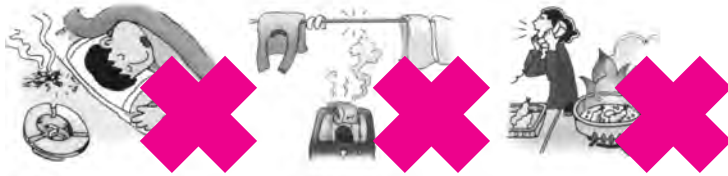
キッズカーナー



消防署では「たらく車」(かがくしゃ)「しょうぼうじどう車」(しょうぼうじどうしゃ)「化学車」(かがくしょうぼうポンプ自動車)

化学車は、水だけでは消すことのできない化学工場での火災や油火災などの時に、泡消火液と水を混ぜ合わせて消火用の泡を作り、たくさん泡を放水して消火します。

住宅防火 いのちを守る7つのポイント 3つの習慣



寝たばこは絶対にしない。

ストーブは燃えやすいものから離れた場所で使用する。

ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

しょうぼうじどう車をつくらう!



北はりま消防本部のホームページで、ペーパークラフトがダウンロードできます。
<http://www.kitaharima119.net>

4つの対策



逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器を設置する。

寝具・衣類・カーテンからの火災を防ぐために防火製品を使用する。

火災を小さいうちに消すために、住宅用火災警報器等を設置する。

お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制を作る。

新人職員各署に配属

平成24年度に採用された新人職員9名が、消防学校での半年間の研修を終え、各署に配属されました。



【西脇消防署】

楽しいことも辛いことも同期の仲間と共に乗り越え、あっという間の半年間でした。今後は一刻も早く住民の皆様の期待に応えられるよう、尽力して参ります。

有川 将史 (25歳)



【西脇消防署】

仲間の大切さ、命の尊さを学ぶことができた半年間でした。常に初心を忘れず、多くのことを吸収し、一日でも早く地域の皆様の力になれるよう頑張ります。

小林 泰範 (19歳)



【加西消防署】

厳しい訓練を耐え抜き、人として大きく成長できた半年間でした。今後も向上心を持ち、知識や技術を積極的に習得し、皆様のお役に立てるよう頑張ります。

小西池桃佳 (22歳)



【西脇消防署】

厳しい訓練を通じて、仲間と協力し活動することの大切さを学びました。研修で得た知識、技術を活かし、住民の方々の方力になれるよう、日々努力していきます。

光宗 研二 (23歳)



【加西消防署】

厳しい訓練も、仲間と協力し、乗り越える事が出来ました。消防学校で学んだ知識、技術を活かし、皆様の役に立てるよう、日々努力します。

前田浩太郎 (25歳)



【加東消防署】

消防の基礎を学び、かけがえのない仲間と出会い、充実した初任研修でした。住民の方々から好かれ、頼りにされる消防士になれるよう、日々努力します。

伴海 拓哉 (23歳)



【西脇消防署】

消防士としての基礎、命の尊さ、仲間と協力する大切さを学びました。先輩方から多くのことを吸収し、頼りになる消防士になれるよう、精一杯努力します。

安福 裕人 (20歳)



【加西消防署】

仲間がいる心強さ、命の大切さを実感し、消防士としての心構えを学びました。北はりまの消防士として、住民の方々から安心して暮らせるよう、日々努力します。

中右 庸介 (22歳)



【多可消防署】

仲間との絆、消防人として基本となる知識、体力、精神力を身につけました。今後も自己研さんに励み、皆様の信頼が得られるよう頑張ります。

大木 啓輔 (23歳)

救急車を上手に使いましょう



救急車 必要なのはどんな時？



近年、救急車の出動件数・搬送人員数はともに増加しています。その理由の一つに、救急車で搬送された人の約半数が入院を必要としない「軽症」という現状があります。住民のみなさんに、「正しい救急車の利用」をお願いします。

119番の正しい利用にご協力を...

119番は災害現場と消防署をつなぐ大切な電話です。正しい利用を心掛けましょう。

病院紹介や問合せは各消防署の一般加入電話へお願いします。



西脇市・多可町にお住まいの方は...

西脇消防署 ☎22-0119(代)
自動音声案内(病院紹介・災害情報) ☎23-7744

加西市にお住まいの方は...

加西消防署 ☎42-0119(代)
自動音声案内(病院紹介・災害情報) ☎43-1682

加東市にお住まいの方は...

加東消防署 ☎42-0119(代)

こんな症状がみられたら、
ためらわずに119番に連絡してください！
重大な病気やけがの可能性あります。

- 顔**
- 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
 - ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
 - ろれつがまわりにくい、うまく話せない
 - 視野がかける
 - ものが突然二重に見える
 - 顔色が明らかに悪い



- 頭**
- 突然の激しい頭痛
 - 突然の高熱
 - 支えなしで立てないぐらゐ急にふらつく

手足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

胸・腹・背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2~3分続く
- 痛む場所が移動する



(成人の場合)

感謝状の贈呈 を行いました



5月1日、多可町翠明湖マラソン中の的確な救命処置の功績に対し、感謝状を贈呈しました。

(感謝状受領者)

萬浪 佳隆 様
藤井 信義 様
棚倉 良太 様



8月1日、西脇市内で発生した交通事故での人命救助の功績に対し、感謝状を贈呈しました。

(感謝状受領者)

青田 哲治 様
宇治 将平 様



11月12日、事務連絡車の寄贈に対し、感謝状を贈呈しました。

(感謝状受領者)

有限会社ザ・ガード
代表取締役
前川ひとみ 様



5月10日、救急講習用資機材一式の寄贈に対し、感謝状を贈呈しました。

(感謝状受領者)

加西市内事業所 様



12月26日、加西市内で発生した建物火災での功績に対し、感謝状を贈呈しました。

(感謝状受領者)

濱野 正富 様
荒木 徳夫 様
中川 正 様

